

Table with 3 columns: 科目 (Item), 予算額 (Budget Amount), 構成率 (Composition Rate). Rows include 市国所有施設等 (Municipal/State-owned facilities), 地方交付税 (Local delivery tax), 公営企業収入 (Public enterprise income), etc.

Table with 3 columns: 科目 (Item), 予算額 (Budget Amount), 構成率 (Composition Rate). Rows include 議会費 (City council fees), 消防費 (Fire department fees), 土木費 (Civil engineering fees), etc.

Table with 3 columns: 特別会計 (Special Account), 予算額 (Budget Amount), 構成率 (Composition Rate). Rows include 特別会計国民健康保険 (Special account for national health insurance), 特別会計と畜場 (Special account and slaughterhouse), etc.

館山市広報

編集と発行 館山市秘書課 館山市北条1.145番地の1 電話館山 1501~1507番

昭和37年 3月19日 第120号 (毎月1回発行)

2月の人口動態 (Population Dynamics in February). Table with 2 columns: 項目 (Item), 数 (Number). Rows include 総人口 (Total population), 出生 (Births), 死亡 (Deaths), etc.

37年度予算額は 総額五億八千九百万円

昭和三十七年度の館山市予算案が三月八日から二十九日まで、二十日開にわたって開かれております。この議会では、総額五億八千九百万円にのぼる市の一般特別会計予算案をはじめ、これに付帯した議案を審議してまいります。

明日の館山を設計し 市民生活の向上を図る

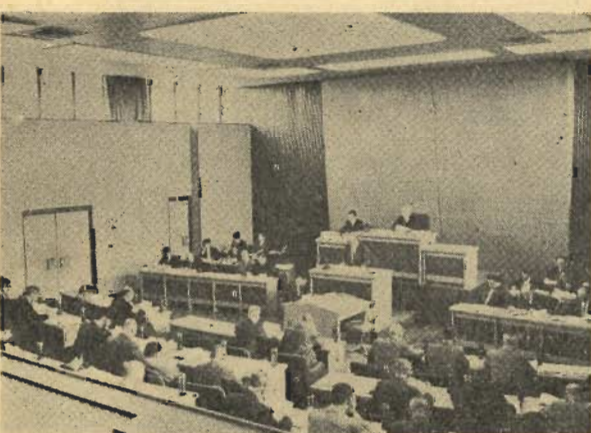


田村市長の施政方針... 応任期中における各種計画を最終的に結実せしめたいと念じておられますが、建設計画もまたその精にいたらばかりであり、市民生活の向上を図るためには、いよいよこれからの当市に必要とするものと信じています。過去七年間、あらゆる施策をひたすらに市勢発展のためと努力を続けてまいりましたが、かえりみず、不肖就任当初は三千万円をこえる赤字財政に悩まされておりました。この赤字財政の再建にまず三カ年計画をもちまして、健全財政の確立を図ると同時に、例年継続計画的に各種産業の振興特に教育施設においては老朽校舎の一〇〇%改築

重点は三施策

消防施設・消防庁舎の完成 処理尿施設・工業課程の増設 高等学校工業課程の増設

歳出 (歳入) (市役所費) 八千七百三十六万円... (教育費) 総額一億三千二百三十三万円



(写真=新年度予算を審議する市議会)

「火事」は 一一九番 館山市消防署

この間、市発展の原動力となるべき市庁舎の建設を行ない、完成と同時に新市建設計画の五カ年計画を樹立したのであります。しかしながら、最近における我が国経済の成長性は誠にめざましいものがあり、やがて本市が本市域の発展力に全般的に立派になるものと感ぜし、市民の経済力は直ちに市財政に結びつくことを考えます。この本市の発展的諸事業は、まさにこれからの具体的な必要性を持つこととなるものと確信いたしました。このように方針に基づいて編成しました昭和三十七年度予算案について、その概要について申し上げます。

「社会及び労働施設費」

これは生活保護法を中心とするいわゆる福祉四法の実施経費が主体で、このほかに国民年金取扱費二百七十一万円、市営住宅建設費七百三十六万円、失業対策事業費五百五十

「保健衛生費」

七千九百九十六万円の前年度に比較すると約三千円増と大市に増額となっており、これは一昨年来敷地決定のため苦勞を重ねてきた「し尿処理場」が一挙に完成する年度で、その所要経費五千六百三十五万円を計上したためと、これと併行して環境衛生施設の整備を図つてゆく方針で、備用処理用トラックの新車購入計画をはじめ、本年度は更に伝染病対策として最も重要である隔離病棟を三芳村との組合営により館山病院内に設置し近代医療施設を完備して伝染病の早期完全治療を期することになりました。

「産業経済費」

前年度と比較すると約五百万円増額になつております。農業基本法の実施に基づき各農家の施策推進を主体とし、特に畜産園芸など農家の多角経営とその合理化、土地改良の継続推進に努力する方針で、これらの所要経費約九百七十七万円を計上しました。商工業対策としては、商工会議所に対する補助金五百万円、商工まつり三十五万円、このほか中小企業融資対策として中小企業融資対策頭託金三百万円を実施する予定で、水産関係費では水産振興対策助成金百六十六万円、港湾施設整備事業などが主なもので総額二百七十二万円を計上しております。また観光費は総額百七十三万円を計上いたしました。

「各家庭で必ず目標を」

四十万円、国庫支出金及び県支助金を合計六千八百二十七万円を計上いたしました。次に繰越金二千五百五十五万円、市債は四千五百五十五万円を計上いたしました。このほか基地交付金二百五十二万円、分担金及び負担金四百万円、使肥料及び手数料千七百七十七万円が主なものであります。

「特別会計」

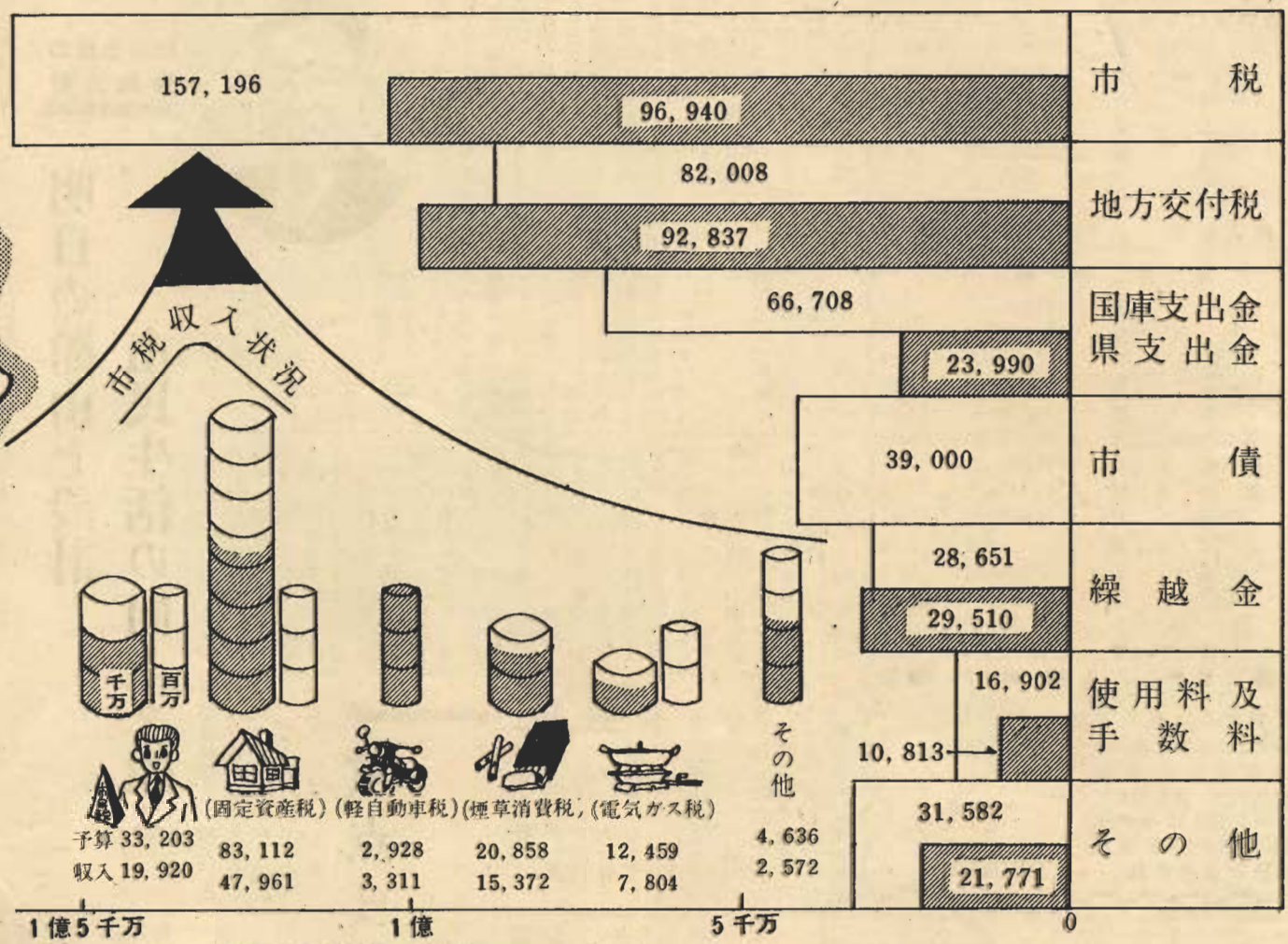
なお、特別会計では、公益貸付金四百六十五万円、国民健康保険では八千三百三十二万円、下水道会計は四百五十万円、簡易水道会計は五十一万円、休養施設会計は一千六百四十四万円に上っております。

た。この間、市発展の原動力となるべき市庁舎の建設を行ない、完成と同時に新市建設計画の五カ年計画を樹立したのであります。しかしながら、最近における我が国経済の成長性は誠にめざましいものがあり、やがて本市が本市域の発展力に全般的に立派になるものと感ぜし、市民の経済力は直ちに市財政に結びつくことを考えます。この本市の発展的諸事業は、まさにこれからの具体的な必要性を持つこととなるものと確信いたしました。このように方針に基づいて編成しました昭和三十七年度予算案について、その概要について申し上げます。

政事情

昭和 36 年 11 月末現在

歳 入 現計予算額 422,047 千円
 収 入 額 275,861 ^{65%} 千円



歳 出 現計予算額 422,047 千円
 支出額 191,871 45% 単位千円

1 議会費 11,725 7,267 62%	2 市役所費 77,252 46,585 60%	3 消防費 38,289 11,786 31%	4 土木費 38,552 12,014 31%
5 教育費 83,506 43,736 52%	6 社会及び労働施設費 73,147 39,336 54%	7 保健衛生費 44,864 7,967 18%	8 産業経済費 23,102 8,732 38%
9 賞 3,564 1,939 54%	10 統計調査費 509 71 14%	11 選挙費 1,387 755 54%	12 公債費 15,780 7,626 48%
			13 諸支出金 7,644 4,056 53%
			14 予備費 2,726

執行率 %

館山市

館山市告示第7号

地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条

の規定に基き館山市の財政事情をここに公表

いたします。

昭和36年度 特別会計別

現計予算額と収入支出との対比 単位千円

公益質屋(船形及び富崎)



歳入 5,618 (収入 1,882) 収入率 34%
歳出 5,618 (支出 2,520) 支出率 45%

休養施設



歳入 23,478 (収入 8,630) 収入率 37%
歳出 23,478 (支出 6,284) 支出率 27%

波左間及び加賀名地区簡易水道



歳入 557 (収入 332) 60%
歳出 557 (支出 224) 40%

と畜場



歳入 870 (収入 797) 92%
歳出 870 (支出 350) 40%

国民健康保険

科目	予算額A	調定額B	収入額C	%A	%B	予算額D	支出額E	%D
国民健康保険	69,080	66,965	39,314	57	59	69,080	33,336	48
1 事業勘定	65,004	63,027	36,367	56	58	65,004	31,676	49
保険料	39,426	46,719	20,060	51	43			
その他の収入	25,578	16,308	16,307	64	100			
2 直診勘定	4,076	3,938	2,947	72	72	4,076	1,660	41
診療収入	2,812	2,111	1,752	62	83			
その他の収入	1,264	1,827	1,195	95	65			



建物 21,555坪
317,078千円

土地 140,634坪
277,739千円

財産総括表

649,846千円



29台
23,290千円



監視船
1隻 350千円



橋樑
3ヶ所
14,800千円



ブール
1ヶ所
4,300千円

有価証券 2口 2,371千円
積立金穀 2口 13,918千円
予託金 1口 1,000千円
出資金 1口 1,000千円

税の負担及び

一人当り
2,701円
(収入1,666円)

世帯当り
10,922円
(収入6,735円)

公債 現在高の状況

133,987千円

特別会計債
19,472

社会及び労働施設債
2,338

消防債
4,508

産業経済債
6,905

土木債
12,336

災害復興債
15,998

教育債
32,663

庁舎債
39,767

9財

今日もまた明日も

交通事故は私達の問題

交通地獄という言葉がヒツクリとするこの頃の交通事情です。

最近、交通事故として政府をはじめ各方面で取り上げられ、真剣な検討が行なわれて、交通マヒを中心とした交通問題は、差し迫った大きな社会問題として政府は、発生した事故の件数を中心に調べてみました。

市内に自動車

五万台 原付自動車以上

昨年末に館山警察署で調べた市内の車両(原付自動車以上)の数は五千三百六十六台に達しています。これを市内の人口からみると一・五人に一台の割合で原付以上の自動車があるわけになります。

市内の交通事故は五年前の二倍

昨年県警察本部で調査した県下の交通事故をみると、一日平均二十二件、死者十九人の事故が発生しています。

原因は不注意と不心得から
ではどうしてこんなに事故が起るのか、道路の



写真1 市内の交通量

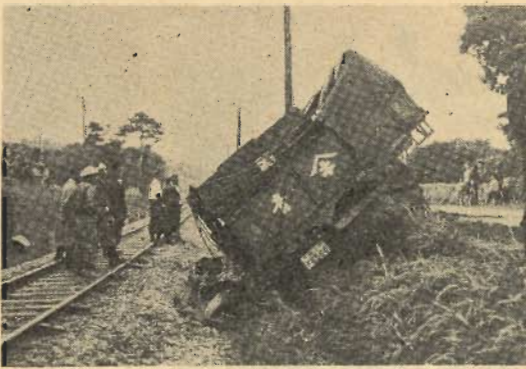


写真2 見送運動

今年も笠名地先に

23戸の市営住宅が完成

年次計画で建設されている市営住宅は、本年度(昭和三十六年)四月から三十七年三月)工事として八百六十五万円で二百三十三戸の市営住宅が笠名地先(旧洲の空跡)に完成しました。

注意と正しい交通規則に
対する認識で防げることが
は防がなければなりません。

交通安全都市へ

対策協議会が発足

激増する交通事故と今後の交通安全対策をはかるため、館山市交通安全対策協議会が結成されました。

館山市交通安全対策協議会委員

▲会長 川村利男(市長) ▲副会長 長瀬辰夫(副市長) ▲委員 川村正一(警察署長) 藤田好治(交通安全協会会長) 本間謙(商工会議所会長) 藤田好治(同郷支部長) 安田金次郎(同郷支部長) 安田金次郎(同郷支部長)...

納税組合の結成は

三月が一番よい時機

市内の納税組合は、現在二百三十六組合が結成されています。そして加入者は全納税義務者の五十七%にあたる一万一千二百二十三名が加入しています。

この納税組合は、便利なばかりでなく、月掛で済ませるため、納税の負担が軽減される。最近の加入される方がふえて来ました。

市税の滞納整理
納め忘れの方は今月中に
市ではいま(三月一は)昭和三十六年度分の各市区の滞納整理を実施する。滞納整理は、今年度からこの年度区分が短縮され、滞納整理の(昭和三十五年)以前のもので、三月三十一日までに納付することを要する。

4月天候予想

富崎測候所
本邦付近は移動性高気圧が周期的に通過し、天候も周期的に晴れ間が続き、持続的悪天候は予想されず、ややかな春の田舎の気候に似ている。

桜の開花予想

桜の開花は三月下旬の気温に大きく影響され、現在までのところ、次のように予想しておられます。

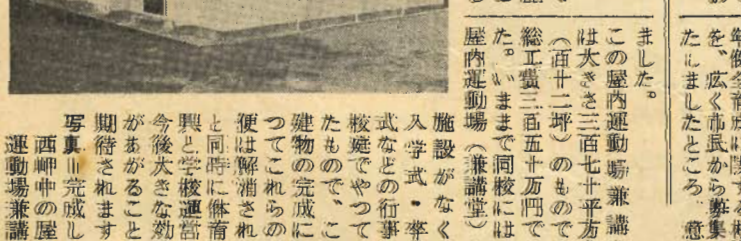
西岬中の屋内運動場が完成

昨年十二月から工事中であった西岬中学校の「屋内運動場兼講堂」が、このほど立派に完成いたしました。

青少年健全育成

目標の当選決定
明田の国家、明田の地域社会の幸福を願う時、青少年健全育成運動の重要性を痛感せずにはおられません。

自衛官募集
一等陸海空士
募集人員
陸士二千六百名
海士二千二百名
空士二千八百名



西岬中の屋内運動場兼講堂
この屋内運動場兼講堂は、大きき三百七十平方メートル(百十二坪)のもので、総工費三百五十万円で、いままで同校には、屋内運動場(兼講堂)の施設がなく、入学式、卒業式などの行事も校庭でやっていたもので、この建物の完成により、便は解消される。同時に体育施設も充実し、生徒の健康増進に大きく貢献することが期待されます。